

理 科

1 理科の力をつけるための家庭学習法

理科は発見の科目です。何度も復習することが大切です。

＜復習のしかた＞

- ① その日に出てきた言葉や公式をしっかりと振り返る。
(黒板に赤で書いたものや、漢字で覚えるように言われたものを優先するとよい。)
- ② グラフや表を習った時は、その内容をしっかりとおさえ、復習を必ず行う。
- ③ 計算問題は、小テストの余りをもらうなどして繰り返し練習をする。

2 授業に関連した家庭学習法

(1) 単元ごとの勉強の仕方

＜植物のくらしとなかま＞

- ① 登下校のときに植物を見つけて、名前を調べてみる。
- ② 顕微鏡の名前を書く。
- ③ 植物の分類の表を、進化の順に書く。

＜光・音・力による現象＞

- ① 教科書の太字の言葉を繰り返し書くなどして覚える。
- ② 教科書や資料集の写真をみて、写真の説明をよく読む。
- ③ 教科書にのっているグラフの内容をしっかりとおさえる。

《活きている地球》

- ① 日常生活のなかでも、地球の歴史にふれることができる。例えば、デパートの大理石には化石がかくれている。興味を持って学習に取り組むことが大切である。機会があれば調べてみよう。

《身のまわりの物質》

- ① 薬品の名前、器具の名前をしっかりと覚えよう。
- ② 物質の名前とその特徴をノートにまとめる。

《化学変化と原子・分子》

- ① 教科書の表を見ながら、原子の種類と原子番号をノートに書く。
- ② 教科書にのっている化学反応式をノートに書く。
- ③ 質量保存の法則の説明を書く。
- ④ 教科書にのっているグラフと説明を定規を使ってノートに書く。

《動物のくらしやなかまと生物の変遷》

- ① 教科書や資料集の図や写真を見ながら、ヒトの体のつくりとその役割をノートに書く。
- ② ヒトの感覚器官のつくりと各部分の名前を書く。
- ③ 反射の仕組みの説明をノートに書く。
- ④ 動物の分類とその特徴を進化の順にノートに書く。

《電流の性質とその利用》

- ① 電気用図記号と器具名を書く。
- ② 教科書にのっている回路図を定規を使って書く。
- ③ 電流と電圧の関係のグラフを定規を使って書く。
- ④ オームの法則の計算プリントを利用し、繰り返し練習をする。
- ⑤ 電磁誘導の説明をノートに書く。

《地球の天気と天気の変化》

- ① 飽和水蒸気量と露点の関係のグラフを説明も加えてノートに書く。
- ② 湿度や水蒸気量を求める計算プリントを先生にもらいに行く。
- ③ 教科書の図を見ながら雲のでき方の説明を書く。
- ④ 天気図用記号をノートに書く。
- ⑤ 方位をノートに書いて覚える。
- ⑥ 前線とその付近の天気の様子をノートにまとめる。
- ⑦ 天気図を実際に書いてみる。

《化学変化とイオン》

- ① イオンの実験の意味を理解して説明を書く。
- ② イオンの記号をノートに書く。
- ③ 電池の原理の説明をノートに書く。
- ④ 酸・アルカリの性質とイオン、中和反応の説明とできる塩をノートに書く。

《生命の連続性》

- ① 細胞分裂の順の説明をノートにまとめる。
- ② 生殖方法の違いによる特徴の説明をノートに書く。
- ③ 遺伝の規則性を遺伝子の考え方で説明できるようノートにまとめる。

《運動とエネルギー》

- ① 速さに関する計算を何度も練習する。
- ② 仕事の考えを理解し、簡単な計算ができるよう練習する。
- ③ 日常生活とエネルギーの結びつきを考える。

《食物連鎖》

- ① 生産者(植物)と消費者(動物)の食う・食われるの関係の整理

《地球と宇宙》

- ① 天体の 1 日の動きを整理してノートに書く。
- ② 天体の 1 年の動きを整理してノートに書く。
- ③ 太陽系の天体に興味を持ち、観察記録から、動きをノートにまとめる。
- ④ 日常生活の中の天体情報に興味を持つ。

《自然と人間》

- ① 生産者(植物)と消費者(動物)の食物連鎖の関係を整理してノートに書く。
- ② 生活の中で自然環境と人間の生活の影響に興味を持つ。
- ③ 日常生活の中の新しい科学技術について興味を持つ。

(2)宿題のしかた

- ① 帰ったら、ご飯を食べる前に終わらせる。
- ② はじめできなかった所をその日のうちにできるように、教科書・ノート・資料集を見て、しっかりと復習をする。
- ③ 必ず教科書や資料集の図や表と一緒に覚えることが大切です。

(3)テスト勉強のしかた

- ① 教科書・資料集を見ながら、問題集をテスト 3 日前までにひととおりする。
- ② 1 ページやるごとに、答えあわせを必ずする。やりっぱなしにしない。
- ③ まちがえた言葉は繰り返し復習して覚える。
- ④ 実験の注意事項はよくめます。確実に覚えましょう。
- ⑤ 色の変化はいろんな分野で使います。これも確実に覚えましょう。
- ⑥ テストの 2 日前からは、問題集で 1 回目間違えたところを毎日見直す。
- ⑦ 小テストをした所は、余りをもらってでも、何度もできるまでやる。
- ⑧ 入試で時間が足りない先輩が多くいます！！計算はコツをつかんで早くなるまで反復練習。